

B-MOSアップデート内容（2026/09/01公開）

2026年9月1日 公開のネットアップデートの追加機能や変更箇所等については、以下の内容となります。

全体

◆「バージョンアップ」を終了し、「ネットアップデート」による継続的な配信に一本化

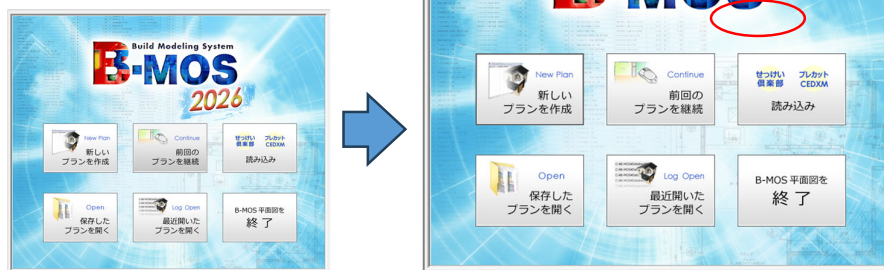
法改正やソフトウェア・AI 技術の進歩など、建築業界を取り巻く環境は目まぐるしく変化しております。この状況を踏まえ、新機能やオプションソフトを完成次第、迅速にご提供できる体制へと移行いたします。そのため、「毎年 4 月の B-MOS 定期バージョンアップ」は終了し、最新機能は「**ネットアップデートによる随時配信**」に一本化いたします。これにより、従来のバージョンアップ時に必要であった大規模な更新作業や USB プロジェクトの更新が不要となり、常に最新の状態で B-MOS をより手軽にご利用いただけるようになります。今後も、より使いやすく安心してご利用いただけるよう進めてまいりますので、何卒ご理解賜りますようお願い申し上げます。

バージョンアップ取りやめに伴う変更点

9 月 1 日公開のネットアップデートから変更となります。

・平面図の起動画面からバージョン表記を削除

平面図プログラムから起動画面の「2026」の表記を削除します。

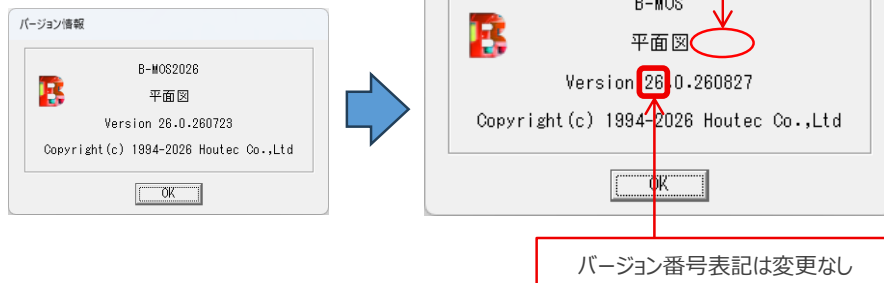


・[ヘルプ]/[バージョン情報]からバージョン表記を削除

[バージョン情報]のバージョン表記を削除します。

※各ソフトのバージョン表記は順次削除していきます。

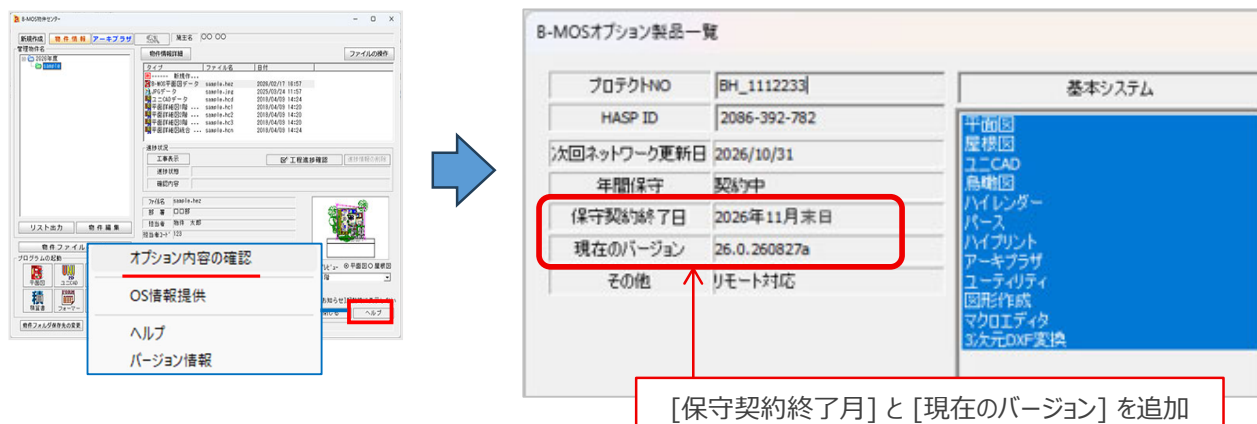
※バージョン番号表記はプログラム管理上そのまま維持します。



◆ [保守契約終了日] と [現在のバージョン] を表示

ヘルプ／オプション内容の確認に [保守契約終了日] と [現在のバージョン] を追加しました。

※ [保守契約終了日] には、保守契約が終了する年月を表示します。



B-MOSオプション製品一覧	
プロダクトNO	BH_1112233
HASP ID	2086-392-782
次回ネットワーク更新日	2026/10/31
年間保守	契約中
保守契約終了日	2026年11月末日
現在のバージョン	26.0.260827a
その他	リモート対応

[保守契約終了月] と [現在のバージョン] を追加

！ サポートについて

● 保守契約終了日

保守契約終了日が過ぎている場合、B-MOS 保守契約はすでに終了しています。

この場合、メールや電話・FAX による操作に関するお問い合わせはお受けできませんので、あらかじめご了承ください。

保守の再契約をご希望の場合は、ソリューショングループ総合窓口（050-3385-6000）までお問い合わせ下さい。

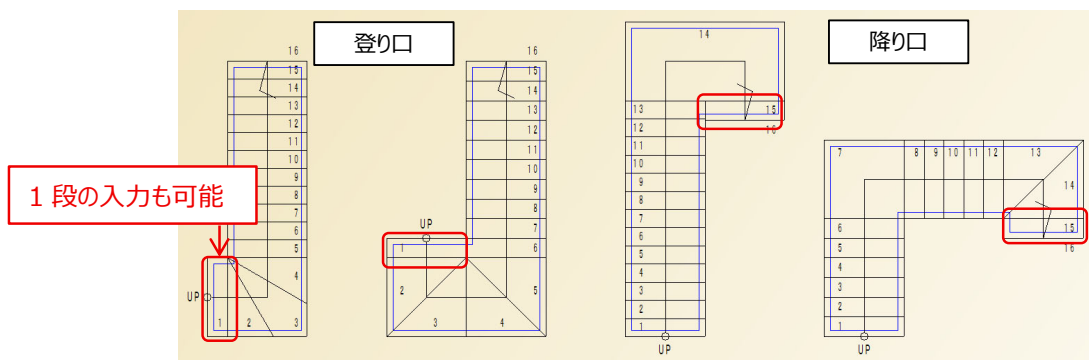
● 現在のバージョン

メールや電話でサポートをご利用いただく際、現在ご利用中のバージョンを確認させていただくことがあります。お問い合わせの際は、こちらの「現在のバージョン」をお伝えください。

平面図

◆ セット階段の登り口・降り口を 1 段で入力できるように改善

「L 字型」等のセット階段について、登り口および降り口を 1 段で入力できるように改善しました。



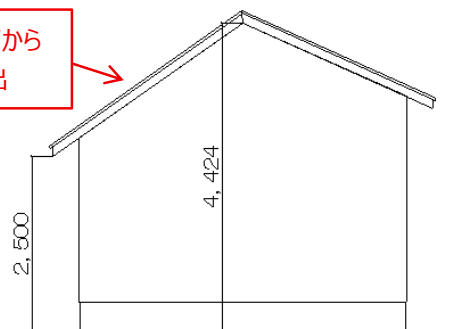
屋根図

◆最高高・最低高による屋根勾配自動設定入力機能を追加

任意屋根／勾配屋根任意入力の入力方法に「位置を指示して高さを設定」を追加しました。最高高さおよび最低高さを指定することで屋根勾配が自動的に算出され、屋根を入力できます。

斜線制限により一部を急勾配にするなど、最適な屋根勾配が分からない場合に有効です。

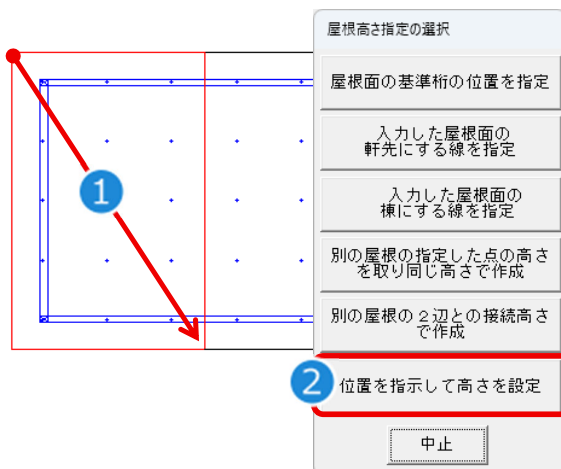
最高高・最低高から
勾配を自動算出



操作方法

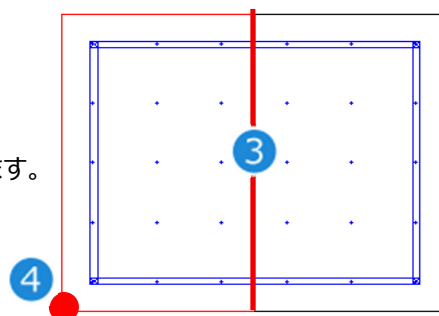
- 1 任意屋根／勾配屋根任意入力で屋根領域を入力します。
→「屋根高さ指定の選択」ダイアログが表示されます。

- 2 「位置を指示して高さを設定」を選択します。



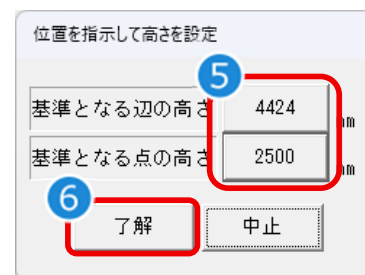
- 3 高さを設定する「辺」をクリックします。

- 4 高さを設定する「点」をクリックします。
→「位置を指示して高さを設定」ダイアログが表示されます。



- 5 「基準となる辺の高さ（③）」と「基準となる点の高さ（④）」を入力します。

- 6 「了解」をクリックすると屋根が作成されます。



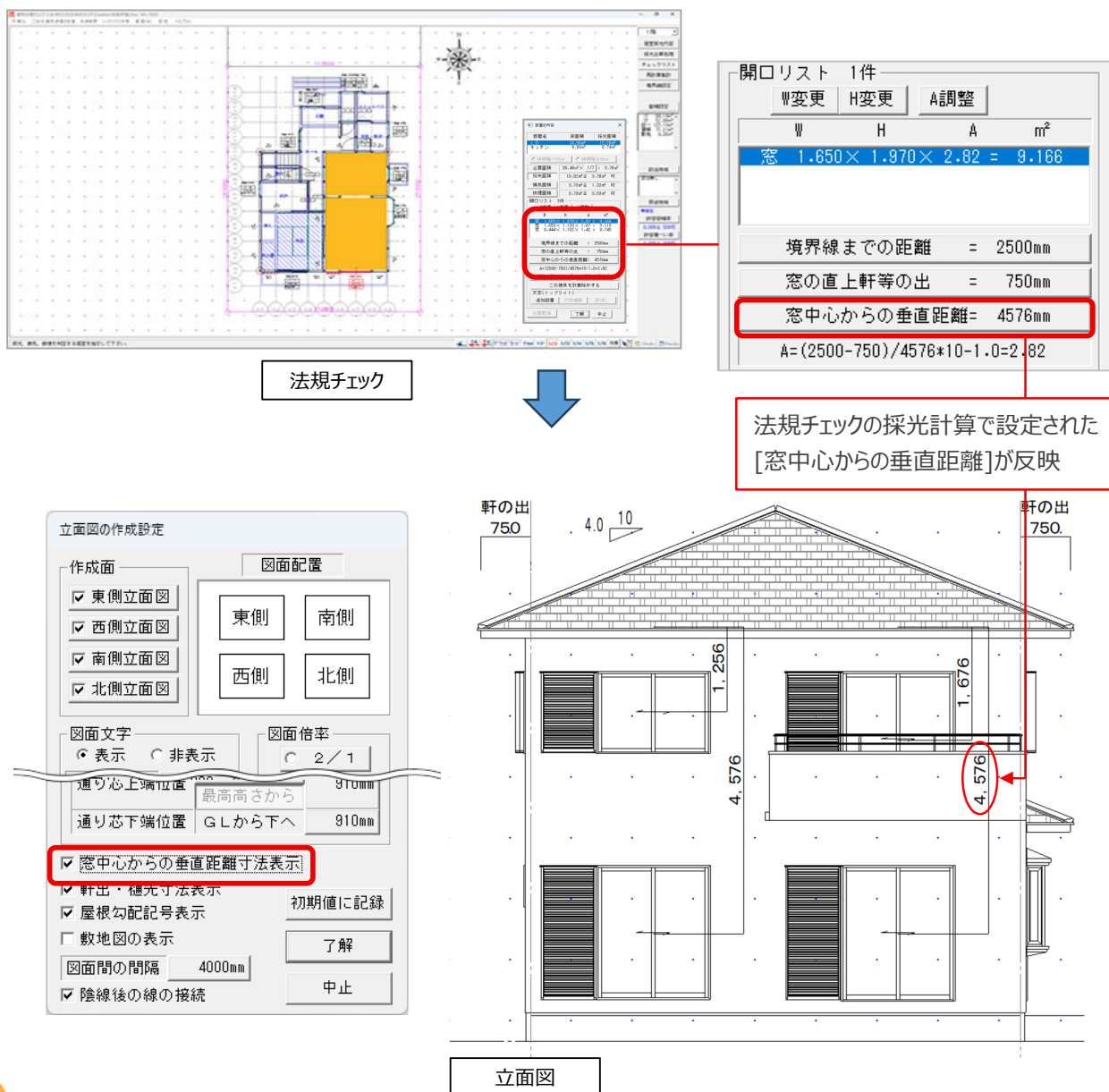
外観立面図

◆法規チェック／採光計算の「窓中心からの垂直距離」が立面図に反映

立面図出力／線画立面図出力の作成設定に「窓中心からの垂直距離寸法表示」を追加しました。

「窓中心からの垂直距離寸法表示」をチェックして線画立面図を作成すると、法規チェックの採光計算で設定された「窓中心からの垂直距離」が寸法線として表示されます。

※寸法線は、法規チェックの採光計算が行われている居室に接するサッシにのみ表示されます。



！ 設定について

法規チェックで採光計算を行っていない場合は、参照するデータがないため「窓中心からの垂直距離寸法表示」はグレー表示となり選択できません。

通り芯下端位置 GLから下へ 910mm

☐ 窓中心からの垂直距離寸法表示
☒ 軒出・樋先寸法表示
☐ 屋根勾配記号表示

初期値に記録

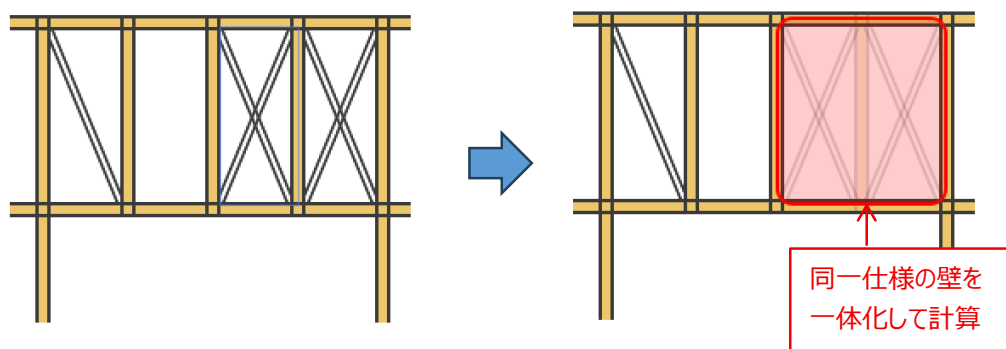
◆同一仕様の壁を一体化して梁上耐力壁による剛性低減計算を行う機能を追加

[柱・壁伏図] に [壁一体化] コマンドを追加しました。

B-MOS では、単純梁に 4 つ以上の壁（梁上の柱が 3 本以上）がある場合、グレー本に計算指針が存在しないため、これまでは適用範囲外としていました。

※留意点に「2 階の単純梁の上に 4 つ以上の壁〜…」と表示

今回追加した**同一仕様の壁を一体化する「壁一体化」機能**を利用することで、適用範囲内のモデルとして計算できるようになりました。



操作方法

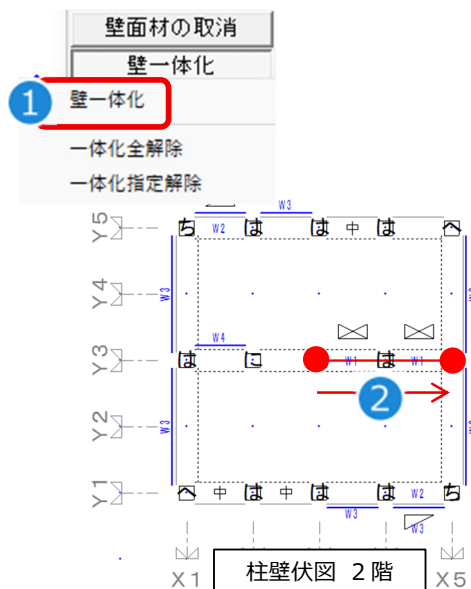
- ① 「壁一体化」／「壁一体化」を選択します。
- ② 一体化する壁の範囲を、始点→終点の順にクリックします。
→設定箇所に赤ラインが表示されます。
- ③ 全ての設定が完了したら、「計算再処理」メニュー／「データ変更により再作成処理」を実行します。

※指定範囲内の壁を 1 枚の壁として扱い、梁上耐力壁による剛性低減計算および、梁の断面検討を行います。

※ [壁一体化] コマンドは、**1 階では使用できません**。

※**壁倍率が同じ壁のみ一体化できます**。

※異なる軸組仕様で壁倍率が同じ場合は、一体化の可否を確認するメッセージを表示します。



! 壁の一体化について

壁と壁の間に位置する柱に軸力（圧縮や引抜）がかからない場合は、同一耐力の一続きの壁とみなすことができますので、壁を一体化して計算することができます。

計算上は両者の壁の耐力が同じであっても、実際の耐力に差がある場合には、間の柱に軸力（圧縮や引抜）がかかりますので、壁を一体化して計算することはできません。

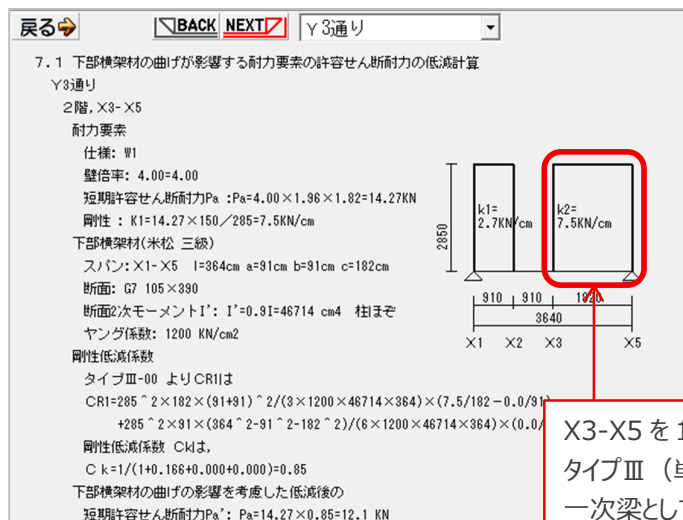
<各検討表への影響>

水平力検定	偏心率の計算
	鉛直構面の地震、風圧力に対するせん断耐力計算、検定
	水平構面の地震、風圧力に対する検定
	層間変形角、剛性率の検定

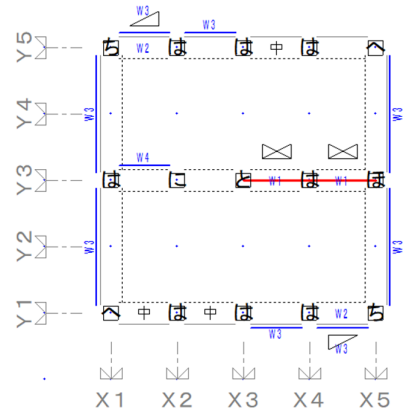
※柱引抜力の検討は、それぞれ独立した耐力壁として行うため影響ありません。

※柱の座屈、柱軸力による土台のめり込みの検討、および基礎検討についても同様です

水平力検定／梁上に載る耐力壁の許容せん断耐力の低減計算



X3-X5 を 1 つの壁として計算を行います。
タイプⅢ（単純梁に壁 3 枚（柱 2 本）が載るもの）の
一次梁として剛性低減係数を計算します。



水平力検定／鉛直構面の地震、風圧力にせん断耐力計算、検定

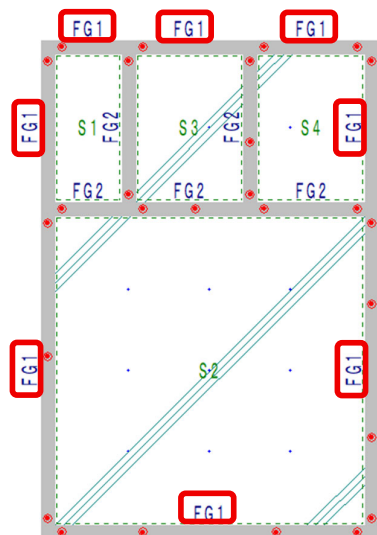


梁上耐力壁による剛性低減係数を適用して通りのせん断耐力を算定します。
※偏心率計算時の剛性計算にも適用します。

◆基礎伏図印刷時の基礎梁番号表示を調整

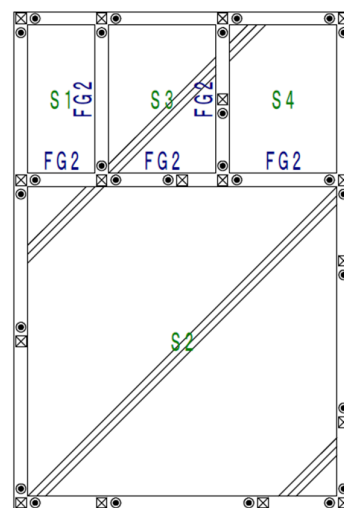
印刷・出力した基礎伏図を見やすくするため、**使用頻度が最も高い基礎梁番号は出力しない**ようにしました。
あわせて、出力されない基礎梁番号については、凡例に「**特記なき基礎梁については、****とする**」の補足文を追記します。

※画面上の表示や基礎伏図／作業／構造図詳細変換出力については、従来どおり全ての基礎梁番号が表示されます。



基礎伏図（画面）

基礎伏図印刷時、使用頻度が最も高い基礎梁番号を非表示としました。



基礎伏図（印刷）

- ☒ 1階柱位置
- M12アンカーボルト位置
- M16アンカーボルト位置

※特記なき基礎梁については、FG1とする

凡例に「特記なき基礎梁については、****とする」と追記します。

◆すべての通り芯を表示する機能を追加

設定／通り芯の表示設定 に [全ての通り芯を表示] チェックボックスを追加しました。

間崩れが多いプランの場合、通り芯が重なって見えにくくなることもあるため、一部の通り芯を省略して表示していましたが、「全ての通り芯を表示」を設定することで、全ての通り芯が表示されるようになります。

プラン状況によっては通り芯が重なって表示される可能性もありますので、「全ての通り芯を表示」する・しないを切り替えてご利用ください。

※設定を反映する場合は、「新規再作成」または「データ変更により再作成」を実行してください。

通り芯の表示設定

X 方向 Y 方向

通り芯逃げ量	900
通り芯線長さ	500
中間芯逃げ量	700
中間芯線長さ	500
文字サイズ	300

記号表示位置
☒ 左 ☐ 右

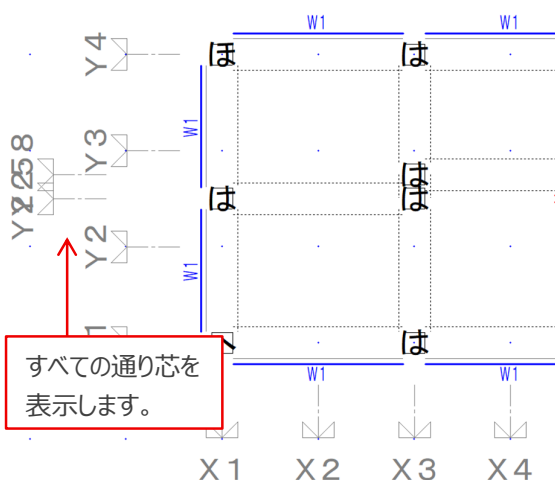
通り芯の表示
☒ 全ての通り芯を表示

初期値に戻す

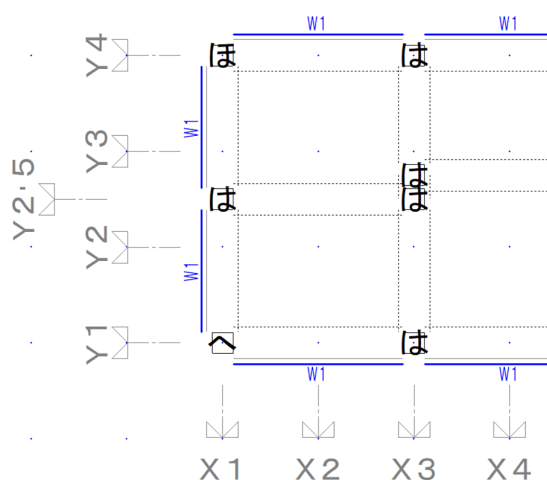
☐ 全体初期値として記録

了解 中止

設定／通り芯の表示設定



全ての通り芯を表示『ON』の場合



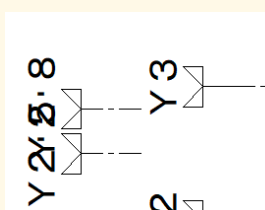
全ての通り芯を表示『OFF』の場合



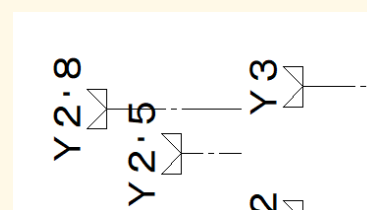
通り芯が重なった場合の修正は？

ハウストラ、構造チェッカー、壁量計算では通り芯位置の修正ができないため、ユニ CAD へ出力することで調整が可能です。

ユニ CAD の「基準線」メニュー内にある **端点伸縮** を利用することで、通り芯の表示位置を調整できます。



調整前



調整後

◆シックハウス対策の有効換気量計算でロフトの追加に対応

シックハウス対策／有効換気量に、ロフトなどの室名を任意で登録できる

[追加] ボタンを追加しました。

また、任意で追加した室名を削除するための [削除] ボタンも追加しました。

※ [削除] ボタンで削除できるのは、任意で追加した室名のみです。

シックハウス／有効換気量

操作方法

- 1 「階変更」でロフトを追加したい階を選択します。
- 2 「追加」ボタンをクリックします。
→「文字の入力」ダイアログが表示されます。
- 3 部屋名（ロフト）を入力し、設定ボタンをクリックします。
→「電卓（床面積の入力）」が表示されます。
- 4 床面積を入力します。
→「電卓（平均天井高の入力）」が表示されます。
- 5 平均天井高を入力します。
- 6 全て設定が完了したら、リストに追加されます。

[シックハウス対策／有効換気量]

有効換気量計算表		居室種別	床面積合計	気積合計	必要回数	換気合計	換気種別	有効換気量合計	有効換気量÷気積 判定	
1	グループ	住宅の居室	110.62	265.01	0.5	132.50	第3種	0	210	0.79 ≥ 0.5 OK

居室番号	階	室名	床面積 (㎡)	平均天井高さ (m)	気積 (A) (m³)	必要換気回数	必要換気量	換気種別	有効換気量 (B)		給気口	排気口	換気回数 (B/A)	
1	2	子供室	9.93	2.40	23.83	0.5	11.91		30					
1	2	子供室	13.24	2.40	31.78	0.5	15.89		30					
1	2	主寝室	16.56	2.40	39.74	0.5	19.87				○			
1	2	廊下	6.62	2.40	15.89	0.5	7.95							
1	2	階段	0.82	3.00	2.46	0.5	1.23							
1	2	階段	1.24	3.00	3.72	0.5	1.86							
1	2	ロフト	3.47	1.40	4.86	0.5	2.43		-	-	-	-	-	

文字の入力

ロフト

3 設定 中止

◆集合住宅用洗面化粧台、サンゲツ「FINE」、アイコットリョーフ「タイル」の追加

集合住宅用洗面化粧台 / 3 点

サンゲツ壁仕様 / 345 点

サンゲツ天井仕様 / 345 点

アイコットリョーフ床仕様 / 15 点

アイコットリョーフ壁仕様 / 7 点

